

やぎさんの

## アオハル伝言板

2021/10/26

二宮西中学校 事務室発

西中生の皆さん、お久しぶりです。前回の事務だよりから少し間が空いてしまいました。緊急事態宣言の延長に伴い、午前授業の特別日課からスタートした2学期。皆さんと関わることでできる時間は少なくなってしまったものの、元気な声や笑顔に出会える学校はやはり楽しくて、生き生きとお仕事に取り組むことができました(\*^-^\*)

9月下旬には中間テストがありましたね。テスト前の朝、通学路を歩いて出勤していると、私の後ろで社会の問題を出し合っている声を聞きました。問題を出した人が解答者の答えを聞いた後に、正解/不正解だけではなく、しっかり解説をしてあげる…とても素敵な学び合いの時間になっていました。“自分の言葉で説明できる”ということは、一時的な暗記ではなく、“知識がしっかり身についた証拠”だと、とても感心しましたよ☆

10月からは通常日課に戻り、秋麗祭の準備が始まりました。二宮西中学校で迎える初めての文化祭。西中生のみんなはいったいどんな作品を創り上げるのか…完成の日をわくわくしながら待っていました。作業期間中、下絵のコピーや色画用紙などを借りるために事務室に来てくれた皆さん、きちんと挨拶をしてくれてありがとう。そして、自分のクラスには何色の画用紙が何枚必要なのか、ちゃんと考えてから取りに来てくれてありがとう。学校にある材料を無駄遣いすることなく、はさみや画鋏とりは丁寧に使ってくれて嬉しかったです！♪

そして迎えた秋麗祭当日、それぞれの教室で輝く切り絵を私自身の目で見たかったのですが…皆さんの作品掲示が終わる前に、私は出張のため、学校を出る準備をしなければなりません。そのため、直接見ることはできなかったのです。本当にごめんね。その代わりに、とても残念に思っていた私のために、写真を撮って送ってくれた先生がいました。どのクラスの作品も、本当に素晴らしかったね！学年が上がるにつれて細かさが増したり、黒い部分と色を付ける部分の対比を考えるようになっていたり…成長を感じられたところもい

いなあと思いました。1年生・2年生の皆さんはぜひ、1つ上の先輩方の作品を見て“すごいなあ”と感じた気持ちを忘れないでください。この秋麗祭から学び得たことは、きっと次の年に活かされていくはず。3年生は最後の秋麗祭、本当にお疲れ様でした。コロナのため、思うような文化祭ではなかったかもしれないけれど…今できることに全力で取り組み、後輩たちのお手本になってくれていた姿、頼もしくてカッコ良かったよ！♡

## 二宮西中学校の新しい仲間たちを紹介します！

私が愛をこめて“この子たち”と呼ぶ仲間は、皆さんの学校生活を支える学校の教材、その中でも、ほんの少し、いや、結構高い“備品”と呼ばれる教材たちです。

今年は、美術の①作品乾燥棚(1つ)、保健体育の②走高スタンド(1組)・③グラスパー(1本)、理科の④衝突実験器(6台)、吹奏楽部の⑤ハーモニディレクター(1台)、軟式野球部の⑥防球フェンス(1枚)と、6種類 11個の備品を買ってもらうことができました。

また、教材ではありませんが、2階放送室の床に敷いてあったカーペットも綺麗なものに張り替えていただきました。

授業でまだ習わなかったり、違う部活動・委員会に所属していて直接見ていないものもあるかもしれませんが、実際に使う立場になった時には、良い状態で長く使い続けられるよう大切に扱ってください。

先週水曜日(10/20)、平成30年度～令和2年度に仲間入りした備品が正しく管理されているのか、二宮町役場の方が点検作業に来られました。教科や部活動担当の先生方にも点検作業の準備にたくさん協力していただきました。買って終わりということではなく、大切に使い続けるために、多くの人の関りを見てとれるのが学校の備品です。



やぎさんと、矢崎 理恵